



病院長
中川 真一

新年のご挨拶

新年明けましておめでとうございます。本年もよろしくお願い致します。昨年4月病院長に就任し、副院長をはじめ、新しい体制で病院運営をしてきました。病院運営の方針は、昨年4月号のこの紙面に書かせていただきました。最初に行つたことは、玄関ホールに立ち、来院される患者さんを「おはようございます」の挨拶とともにお迎えすることができた。この行為は院長として当然の行いとして始めたのですが、各方面から良い評価をいただきました。次に行つた職員全体集会は、病院の方

J A長野厚生連安曇総合病院

き ず な

第227号

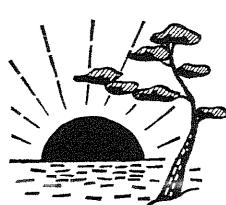
発行所:〒399-8695
北安曇郡池田町池田3207-1
TEL(0261)62-3166(代)
J A長野厚生連安曇総合病院
発行責任者:院長 中川真一
編集委員会
<http://www.janis.or.jp/users/azumi-hp/>

今年の抱負としては、昨年結果たせなかつた事柄である「地域の声を病院に反映する」ということです。この行為は院長として始めたのですが、各方面から良い評価をいただきました。次に行つた職員全体集会は、病院の方

針を多くの職員に伝える良い機会となりました。6月から病棟回診と職場巡視を開始しました。病棟では患者さんの話を聞き、職場では職員の話を聞き、職場では職員の話を聞きました。これにより現場の生の声が伝わってきました。10月になり、保健所、行政およびJAの各事業所を訪問し、当院への忌憚のないご意見や要望を聞き、また当院の今後行う事業等への協力をお願い致しました。病院経営については、新患の紹介率は25%を超えた。さらに病床稼働率も高く、時には当院への入院をお断りし、他院を紹介することもありました。

ささらに進め、「紹介率30%」を達成したいと思つています。大北地域の救急医療については、この4月から「平日夜間急救センター」として開設されます。当院としても積極的に関わり、地域の基幹病院としての責任を果たしていくつもりです。地域におけるがん診療についても、これまでの肺がんや乳がんの早期診断に加えて、緩和ケア病棟「回復期リハビリ」へと機能転換を行う予定です。これは発症後90日以内の脳卒中や下肢の骨折の患者さん等を対象に、理学療法士や作業療法士が病棟に常駐し、時間をかけてリハビリを十分行う病棟です。ここに入院した患者さんは、ここにいる患者さんとの7割程度の方が自宅に復帰できるとのことです。当院もIT化に向け、秋頃にはオーダリングシステムを開始し、3年後の電子カルテシステムへの移行を目指します。これにより処方や検査予約がより円滑になり、さらにリスク管理にも効果を發揮します。また、開業医や病院との連携を

ための組織」の設立と「地域での健康講話」の開催を実現したいと思っています。事業の予定としては、4月より療養病棟を「長期療養」から「回復期リハビリ」へと機能転換を行う予定です。これは発症後90日以内の脳卒中や下肢の骨折の患者さん等を対象に、理学療法士や作業療法士が病棟に常駐し、時間をかけてリハビリを十分行う病棟です。ここに入院した患者さんは、ここにいる患者さんとの7割程度の方が自宅に復帰できるとのことです。当院もIT化に向け、秋頃にはオーダリングシステムを開始し、3年後の電子カルテシステムへの移行を目指します。これにより処方や検査予約がより円滑になり、さらにリスク管理にも効果を発揮します。また、開業医や病院との連携を



て東京や大阪で開催される学生や研修医に対する説明会等に参加し、初期および後期研修医のさらなる獲得を図つていくつもりです。

「安曇野ホスピタリティ」への実現に向け、昨年の病院祭での地域の方の声を謙虚に受け止め、今年もいくつかの努力を重ねていきたいと考えています。医師をも含めた全職員に対する接遇研修会、認知症疾患センター講演会、病院祭および年2～3回行われる予定の職員全体集会などを通して、患者さんを中心の医療の実現を訴えていきたいと思っています。昨年抱負として述べた「日本を代表する病院」への道のりは、遠く困難な道です。あきらめずに一歩づつ歩を進めていくのが大切と考えています。

た、地域の開業医への理解を深めるため、病診連携懇話会や病診連携旅行等の行事への積極的な参加を促していきたいたいと思っています。今年度もポスター、ホームページそして

消化器集検合同研究会開催について

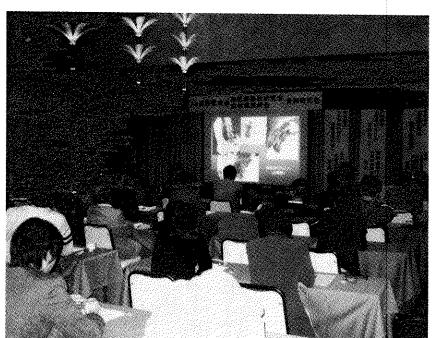
平成18年1月1日

きな



検・放射線技師合同研究会が11月19・20日の2日間、当院の当番により大町「立山プリンスホテル」において開催されました。25年前より行われているこの合同研究会は、厚生連胃集団検診の精度管理、読影レベルの向上、撮影技術のスキルアップ等を目標に、医師・技師・保健師・事務の皆さんのがそれぞれの立場で、検診が価値あるものになる様切磋琢磨した結果を発表し、学びあう場として続いてきました。今回当番病院として、谷川副院長を実行委員長に委員会をつくり準備に当りました。

平成17年度厚生連消化器集検・放射線技師合同研究会が11月19・20日の2日間、当院の当番により大町「立山プリンスホテル」において開催されました。25年前より行われているこの合同研究会は、厚生連胃集団検診の精度管理、



「長野県における山岳遭難対策」と題した県警山岳遭難救助隊平出隊長による文化講演は、岳都大町での開催にふさわしい講演で好評でした。

学術講演、症例検討会が行われ夕方からは、当院中川院長の挨拶、乾杯により懇親会が開かれ、80人の方々が参加されました。2日目は第70回放射線技師研究会が開催され、当院放射線科部長高山先生による「甲状腺腫瘍の診断」と題した教育講演、研究発表等が行われ、熱心な質疑応答が交わされ、2日間にわたる研究会が無事終了しました。

準備・運営等に協力いたしました関係諸氏の皆様大変御苦労様でした。心より感謝申しあげます。

急性心筋梗塞について

循環器科医長 東方 壮男

心臓は全身に血液を送り出しているポンプの役割をしています。心臓は24時間365日動き続けており、もし動かなくなると全身に血液が行き渡らなくなります。絶え間なく働いている心臓自体へも冠動脈という血管を介して血液が送られています。

急性心筋梗塞とは、冠動脈の閉塞により心筋の一部が死につつある（壊死）状態です。高血圧・高コレステロール・喫煙などにより冠動脈に動脈硬化が進展します。この動脈硬化により冠動脈内腔に血液の塊（血栓）ができ、冠動脈が完全閉塞してしまうと急性心筋梗塞になります。また、完全閉塞に至る前に、血栓が出来たり消えたりすることがあります（不安定狭心症）。急性心筋梗塞に至る危険な状態と心筋梗塞になります。また、心筋梗塞になります。

心筋梗塞になると、突然起る胸部の激痛です。胸痛の性質は胸部全体の圧迫される、締め付けられるような

痛みです。（程度は違います）。痛みが首や肩（主に左肩）に放散したり、呼吸困難や冷や汗を伴うこともしばしばです。ただ、高齢者や糖尿病患者では胸痛がはつきりしない場合もあります。20分程度で治まる場合は狭心症、30分以上持続する場合は急性心筋梗塞を強く疑います。

典型的な症状に加え、心電図検査や血液検査で明らかな異常を認めれば診断は比較的容易です。より診断を確実にするには心臓超音波検査や心臓カテーテル検査（血管造影検査）が必要になります。

治療は、早期に冠動脈再開通療法を行い、集中治療室で

急性期を乗り切ったあとは、退院に向けて段階的に身体に負担をかけながら行動範囲を広げていき（心臓リハビリテーション）、約2週間で退院となります。退院後はほぼ以前の生活に戻ることができますが、治療した冠動脈の狭窄・閉塞の再発が3割ありますので、半年程度で再検査を行います。

冠動脈再開通療法とは閉塞している冠動脈を再開通させる治療です。以前は血栓を溶かす治療（血栓溶解療法）がよく行われましたが、最近は風船により血管を広げる治療（経皮的冠動脈形成術）が主流です。金属製の筒を冠動脈



南病棟紹介

精神科病棟長 南方 英夫

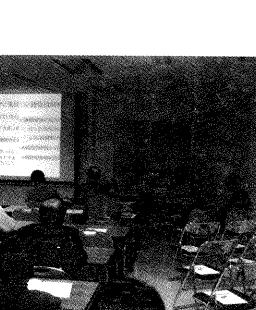
南病棟は、精神科の専門病棟で、平成15年4月に完成された新しい病棟です。3階建でとなつており、1階が老年期の精神障害を含む急性期治療ユニットと、精神科急性期治療ユニットで、合併症治療にも対応しております。2階は、心療内科的ユニットと精神科慢性期の方の治療ユニットで、静かな治療環境を提供しています。また、3階は精神作業療法室を設置しており、様々なプログラムを提供しています。このような新しい治療環境の中で様々な精神疾患の治療が可能となりました。

統合失調症、躁うつ病、神経症

経症はもちろんのこと、アルコール依存症、摂食障害等の思春期の患者さんの中でも力を入れており、県内各地より、治療を求めて多くの患者さんが来院されています。その中で、昨今、うつ病の患者さんの増加が著しい状況にあります。が、当科では、うつ病に適した療養環境の整備に努めています。

うつ病治療の薬物治療は、SRI(新型抗うつ剤)やSNR-I(新型抗うつ剤)などの効果が高く副作用の少ない安全な薬剤を中心に行われ、安心して受診していただけるものと考えています。更に、先月からは、県内では信州大学に続き2台目となるパルス波治療器を導入し、麻酔科とタイアップして無痙攣性通電療法を始めています。すでに当院では、本年4月から無痙攣性通電療法を開始していましたが、パルス波治療器を使用することで、より効果的、かつ安全なうつ病治療が可能となります。このように新しい治療環境の中でのうつ病の治療が可能となりました。

一方、精神科医療には欠かせない社会復帰に向けた資源の開発や地域精神医療充実のための活動を各関係部門と協力しながら行つており、地域で患者さんが安心して暮らしていけるような環境作りを行なっています。



高まる医療連携への期待

地域医療連携課長 矢野口 陽一

11月29日、当院会議室で第16回大北南部地区病診連携懇話会が開催され、近隣の開業医や医療関係者、病院職員等74人が参加しました。

講演に先立ちフリーディスカッションが行われ、はじめに病院の現状として外来診察が午後までかかり、予定している手術や回診など入院治療に影響が出ていることを提起し、医師同士忌憚のない意見交換が行われました。

医師の面子にこだわることなく、患者さんに最もふさわしい医療とは何かを基本に置き、医療機関の特徴を踏まえ紹介するなど、連携の深まりに期待する意見が多く出ました。

▼看護部教育委員会による、看護研究発表会が、12月16日まで行なわれました。

トピック・アズミ

▼精神科公開講座(湯浅千尋先生による『慢性統合失調症について』)が、11月25日に行なわれました。

ス事業が、当院会議室を会場として、11月22日~12月13日まで行なわれました。

▼看護部教育委員会による、

看護研究発表会が、12月16日に行なわれました。

▼長野松代総合病院診療棟増築工事竣工式・記念式典が12月17日に行なわれ、中川院長が出席しました。

▼松本税務署で12月20日、健康講話が行われ、谷川副院長が講師として出席しました。

講演では、当院呼吸器外科の花岡医師が、「肺がんの外科的治療について」と題して、

最近の症例や学会発表の症例を紹介し、CT検査による早期発見と内視鏡的切除が患者さんにも優しく、術後の成績が良いことから国際的にも高い評価を受けていると報告がありました。

11月から携帯電話をご利用いただけるようになりました。マナーを守り、指定通話工りアでご使用ください。

ボランティアコーナー

12月16日金曜日、一階病棟のホールから元気なクリスマスソングが聞えてきました。

ボランティアの西沢さんと星野さんが来てくださいましたので

す。紙芝居、道化師等、一時間程患者さんと一緒に過してくださいました。患者さんの笑顔を引き出し、心温まる空間がそこにありました。そのひと時を楽しみにしている患者さんも大勢いらっしゃいますのでこれからも是非よろしくお願い致します。

編集後記

新年明けましておめでとうございます。私事ではありますが今年2月に出産予定です。今から新しい生命の誕生を待ち遠しく思っています。今年は素敵な年になりそうな予感です。今年は皆さんにとってどんな年になるのでしょうか。なによりも皆さんが健康な1年でありますように。

お知らせ

安雲総合病院理念

私たちには、皆さまに満足いただける親切・安全な保健・医療・福祉サービスの提供につとめます。事業活動を通じJAグループや地域の関係機関と連携し豊かな地域づくりに参画します。

私たちには、皆さまとともに病気の予防と早期発見につとめ地域の健康増進に貢献します。私たちには、安定した運営基盤のもとに医療内容の充実と療養環境の改善につとめ、皆さまに信頼される病院づくりをめざします。

| 基本方針 |

- 。皆さまが満足できる適切で安全な医療の提供につとめる。
- 。皆さまの権利とプライバシーを尊重する。
- 。皆さまへ十分な説明をし、理解と同意をいただくことを全ての医療活動の前提とする。
- 。近隣医療・福祉施設と連携し、地域医療・福祉の充実につとめる。
- 。地域のニーズに即応できる救急医療体制の整備充実につとめる。
- 。在宅医療支援活動の増進につとめる。
- 。保健予防活動に積極的に取り組み、地域の皆さまの健康増進につとめる。
- 。厚生連の諸活動やその他の文化・研究活動に積極的に参加する。
- 。病院職員の健康・福祉の増進につとめる。
- 。適切で明確な病院運営方針を策定し、その実現につとめる。
- 。研究活動に積極的に参加する。

《 診 療 案 内 》

平成18年1月

	月	火	水	木	金	土				
内科(一般)初診 内科(一般)再診 (予約制) 循環器科 呼吸器科 神経内科 血液内科 専門外来	林山 川井東津島(第3週)	田口 上能方	川上 中川(9時30分~) 井林	井山 早東川	能口 野方 上(午後)	東山 中川林	方口 田(午後)	早野 中川(9時30分~) 井林山	川山 上(第3週) 口(第1週)	野
	東方	池田(信大)(午前) 鈴木(信大)(午後)	東方	東方	東方	渡辺(午前)				
	井能・山口	井能	井能・山口	山口	井能・山口	井能・山口	信大			
	中川(10時30分~)	中川(11時~)	中川(10時30分~)		中川(10時30分~)	中川(10時30分~)	林田			
	川上(午前)	川上(午前)	川上(午後)	川上(午前)	川上(午前)	川上(第1.5週)				
				一條(肝臓) 洞(腎臓)		高梨(第1週・3週) (リウマチ・膠原病)				
精神科 心療内科再診 (予約制) 精神科再診 (予約制)	初診 平中	林村	鬼頭(午前)	竹内	村田	鬼頭(午前)				
	村鬼	田頭	村田	鬼頭	平林	村鬼	田頭	鬼頭		
	村鬼	田頭	村平鬼	田林頭	内頭	平林	平村荻	林田原	鬼頭	
	夜間診療(予約制)			村田・平林・鬼頭						
小児科	午前	信原	大保刈(原)(受付11時まで)	原(保刈)	保原刈(原)	原又は保刈	信大			
	午後	特殊外来(予約)	乳児検診(予約)	内分泌外来(第3週)(予約)	慢性疾患(予約)	慢性疾患(予約)				
外科 呼吸器外科 形成外科 (受付15時30分まで)	一般外来	金谷	佐藤	佐藤	金谷	金谷	佐藤			
	花岡(午後)				花岡		花岡			
					川村(13時から診療)					
	乳腺内分泌外科	望月(乳腺)(診療日:23日)		藤森(乳腺)(初診受付10時まで)		信大(甲状腺)				
整形外科 (受付10時30分まで)	最向	上山	谷松高	川原橋	最向	上山	谷向松	川山原	谷川・最上・向山・松原(輪番で担当)	
	(受付9時30分まで)									
皮膚科	芦田(信大)			河内(信大)			太田(由)(診療日:13・27日)	太田(由)		
泌尿器科				石塚(信大)						
産婦人科	信大	曾根原	信大			信大				
眼科	太田(い)	太田(い)	検査・手術(外来休診)	太田(い)(午後コンタクトレンズ要予約)	太田(い)(受付10時まで)	信大				
耳鼻咽喉科		信大(14時から診療)				信大(14時から診療)	信大(受付11時まで)			
放射線科	高山(曾根)	曾根	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)	高山(曾根)			
麻酔科 (受付11時まで)	松本	松本	松本	松本	松本	松本	松本			
リハビリテーション科	緒方	緒方	緒方	緒方	緒方	緒方	緒方			
歯科口腔外科	中嶽	中嶽 大(午後)	中嶽 大(午後)	中嶽 大(午後)	中嶽	中嶽	中嶽			

☆第2・4土曜日(1月14日・28日)と、9日(祝日)、1月1日～3日は休診です。